

2010 年度報告書 (COE 教員)

氏 名	今田 絵里香
職 位	特定助教
<p>研究概要</p> <p>(1) 戦後日本の少女少女文化における異性愛文化導入とその論理について明らかにする</p> <p>①歴史研究班・コアプロジェクトの共同研究「戦後日本におけるセクシュアリティと親密性の再編」、②平成 22 年度科学研究費補助金 (若手研究 [B]) 「1945～70 年の少女少女雑誌文化における異性愛主義の拡大に関する研究」を実施し、戦後日本の少女少女文化における異性愛文化導入とその論理について明らかにしている。</p> <p>(i) 第 1～7 回研究会開催</p> <p>(ii) 特別セミナー開催</p> <p>①石田仁「ホモの普及」(11 月)、②川村邦光「純潔／純血をめぐる」、齋藤光「1940 年代後半から 50 年前半にかけての純潔教育施策——その意味を考えるために」(3 月)。</p> <p>(2) 戦前日本における少女少女の投書文化について明らかにする</p> <p>平成 22 年度科学研究費補助金 (基盤研究 [C]) 「近代日本における中学校・高等女学校の学校文化とジェンダー」(代表 小山静子) を共同研究者として実施し、戦前日本における少女少女の投書文化について明らかにしている。</p>	
<p>教育概要</p> <p>(1) 京都大学女性研究者支援センターと連携し、大学院生向けシンポジウムを開催する</p> <p>(i) 「シリーズ 私の仕事とキャリアデザイン② 男だって育児休業」(6 月)</p> <p>(ii) 「文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム 未来を築く女性研究者の飛翔に向けて」(10 月)</p> <p>(2) 「親密圏と公共圏の再編成」(京都大学)、「教育社会学」(立命館大学) 講義の実施</p>	
<p>業績リスト (著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する)</p> <p>【論文】</p> <p>1. 「戦後日本の『少女の友』『女学生の友』における異性愛文化の導入とその論理——小説と読者通信欄の分析——」『大阪国際児童文学館紀要』第 24 号、財団法人大阪国際児童文学館、2011 年 3 月。</p> <p>【学会報告】</p> <p>1. 「少女少女にとって文芸とは何だったのか——1900～10 年代の『日本少年』『少女の友』投稿欄比較から——」、単独報告、日本教育社会学会第 62 回大会、関西大学、2010 年 9 月。</p> <p>【その他・研究助成】</p> <p>1. 平成 22 年度科学研究費補助金 (若手研究 [B])、研究課題名「1945～70 年の少女少女雑誌文化における異性愛主義の拡大に関する研究」、研究費 1040000 円 (各年度)、単独研究、日本学術振興会、2010 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日。</p>	

